

2019年4月1日

株式会社三菱ケミカルホールディングス 社長 越智 仁
新入社員歓迎式 メッセージ (要旨)

株式会社三菱ケミカルホールディングス

【当社を取り巻く環境】

現在、世界経済は低成長の時代に入っており、地球温暖化をはじめ人・社会・地球を取り巻く様々な課題が深刻化する一方、科学技術は目覚ましい速度で発展を続け、社会のあり方や産業構造に不可逆的な変化をもたらしつつある。また、地球温暖化、海洋プラスチック問題などはすでに深刻な状況にあり、私たちはこうした社会課題を解決するソリューションを提供し、事業発展のチャンスとすることが重要である。

一方、昨今の科学技術の進化は目覚ましいものがあり、特にAIは様々な面で人智を超える域に達している。また、IoTによってあらゆる物事がデータで繋がるようになり、バーチャルとリアルの垣根が消失した新たな地平を生み出しつつある。リアルの世界を生きる私たちは、どういった強みをもってこの世界を生き抜いていくのか、懸命に考えなければならない。

【KAITEKI 経営の推進】

当社は、資本効率の向上(MOE)に加え、革新的な製品やサービスの創出(MOT)、人類、社会、地球の持続可能性向上に資するソリューションの提供(MOS)の3つの価値の総和を企業価値として、この価値を高める「KAITEKI 経営」を推進している。

まずMOEの側面でいうと、当社はポートフォリオ改革を進め営業収益を拡大させており、中期経営計画 APTSIS20 の目標を達成するよう努力を続けている。従前のようにあらゆる物事を日本起点に決める考え方から脱却し、多極化の時代に即した事業戦略が求められている。

多極化する世界において事業を成長させる上では、MOTの向上が欠かせない。自社にない技術は積極的に外部との協奏・連携を行い、スピード感をもって市場のニーズに即応することが重要だ。あらゆる業務における基盤として、デジタル技術の習得も必須である。

2015年の国連サミットで採択されたSDGsが脚光を浴びているが、当社は2011年からKAITEKI経営に取り組んでいる。SDGsが掲げる目標は、企業が事業活動を通して人・社会・地球の持続的発展に貢献し、それによってはじめて企業も持続可能な成長ができるというKAITEKIの精神とまさに軸を一にする。当社は、2050年、2030年といった中長期の将来を予想し、バックキャストする中で、今何を行っていかねばならないか考え、経営戦略に落とし込もうとしている。未来のために今何ができるのか、皆さんにも知恵を絞っていただきたい。

また、デジタル技術やAIの進化にともない、人の働き方も大きく変わろうとしている。当社グループは健康経営を経営戦略の一つとして進めており、皆さんも健康経営に積極的に取り組んでほしい。

【新入社員の皆さんへ】

私たち三菱ケミカルホールディングスグループの一員となった新入社員の皆さんには、まず固定観念や先入観を捨てていただき、「ゼロからの積極果敢なチャレンジ」を続け、ともに KAITEKI 価値を創造していただきたい。それにあたり、次の3点を深く心に刻んでもらいたい。

- ①熾烈な競争を勝ち抜くために、すべてのチャンスを活用し「食欲に学べ」
“Curiosity”
- ②自らの業務役割を深く考え、行動を起こし、責任を持ってやり遂げよ。「仕事のプロになれ」
“Deep Insight”
- ③失敗を恐れず新たなフィールドへ果敢に挑戦し、価値を創造し続けよ。「積極的に行動せよ」
“Active Thinking”

新入社員の皆さんの積極果敢なチャレンジに期待する。

(ご参考：入社歓迎式参加社員数 435名)

<p>お問い合わせ先 株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 電話：03-6748-7140</p>
--